

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービスびーす		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		2024年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		2024年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動訓練室が広く、 空間にゆとりを持って子ども達に対応ができる。	必要最低限の物だけ訓練室内に配置している。 日頃から備品の整理整頓をしている。 棚や机、大型備品も定期的に配置替えをしている。	子ども達の特性に応じた過ごし方に合わせて スペースを区切るなど配慮をしていく。
2	保護者のニーズに合わせて 長時間の預かり対応ができる。	ニーズに対応できるよう 送迎時間帯やルート調整をしている。	保護者に負担のない方法で細やかな連携ができるよう 配慮し、ご家庭の状況や事情に合わせたニーズを汲み取り、 対応していく。
3	児発・放課後・就労が繋がっているので 部署同士での細やかな情報共有ができる。 卒入学時の進路相談にも随時対応ができる。	児童発達支援から就学を控えている児童の情報や 卒業後の進路候補として就労支援B型と直接連携がとれる。	利用児童もしくは保護者の卒業後の進路意向を聞き取り、 どういったニーズがあるのかを把握しておく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材の確保定着、後進の育成	人事面での評価体制がきちんと確立していないので、 職員個々のモチベーションややりがいに影響が出る。 数年で辞めてしまう職員も多く、後進の育成が難しい。	人事に関する評価体制の整備と 継続した求人掲載と広報の見直しが必要。
2	地域との連携	地域のイベントや活動への参加機会が乏しく、 コミュニケーションが希薄になっている。 関係機関によっては継続的な情報交換が難しい。	外部研修に参加して、地域情報を収集し 他事業所や近隣施設との交流機会を設けていく。
3			